

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	図画工作				
担当者氏名	吉田 和子				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

小学校図画工作科の教育活動について、基礎的な技術や自己表現力を高め、自らの活動を通して理解し、今後の教材研究や授業計画へと実践に活かせるよう授業を進める。

《授業の到達目標》

- (1)基本的な材料、用具の扱い方や造形操作ができ、多様な表現方法を習得、活用できるようになること。
- (2)(1)を踏まえ、子どもの表現意欲を育てる指導や援助について理解を深め、子どもへの適切な働きかけができるようになること。

《成績評価の方法》

1. 通常授業での学習態度、授業対話カードの提出状況、課題作品、作品ファイル、レポートなど（提出期限が守られていること）80%
2. グループでの活動内容（グループで協力して取り組んでいること）20%

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	ガイダンス	授業の進め方、実技課題について、準備物について
2	絵の具を使って(1)	基本画材「絵の具」を知る、使う 特徴を生かした表現方法（基礎技法からの色彩づくり）
3	絵の具を使って(2)	多様な技法を生かした表現方法（多様な色彩から作品づくり）
4	絵の具を使って(3)	いろいろな表現技法の応用と鑑賞活動（鑑賞から作品づくりへ）
5	パスを使って	基本画材「パス」を知る、使う、 特徴を生かした表現方法（基礎技法からの色彩づくり）
6	パスとコンテを使って	多様な技法、いろいろな表現技法の応用
7	紙工作(1)	紙の素材研究とその応用作品づくり
8	紙工作(2)	紙の素材研究とその応用作品づくり
9	紙工作(3)	仕掛けのあるカードづくりなど
10	素材研究(1)	自然素材の開発とその表現方法
11	素材研究(2)	身の回りの廃棄物素材の開発と作品づくり
12	表現と鑑賞	小学校の鑑賞活動から表現活動へ
13	授業の計画(1)	模擬授業に向けての指導案の作成検討(グループ活動)
14	授業の計画(2)	模擬授業に向けてのプレゼンテーション(グループ活動)
15	4月からの振り返り	振り返りと作品の整理

《テキスト》

テキストは使わないが、適宜資料を配布する。

《参考図書》

- ・佐藤剛外著、大好きになる図画と工作、東京図書出版2014
- ・わくわく図工室にいこう(全3)、美術出版エデュケーション2017
- ・京都市立芸術大学美術教育研究会編集、美術資料、秀学社

《授業時間外学習》

造形表現に関わり、関連著書を読む、美術館の作品展示や子どもの作品展などを鑑賞しておく。日頃から興味関心を持ち、アートワークショップにも参加してみよう。

《備考》